

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道480号 平道路	事業区分 一般国道	事業主体 和歌山県
起終点 自：和歌山県伊都郡かつらぎ町平 至：和歌山県伊都郡かつらぎ町萩原		延長 5.7 km
事業概要 国道480号は、大阪府和泉市と和歌山県有田市を結び、広域交流の促進及び沿線市町村の連携強化を図る、延長約12.3kmの幹線道路である。 平道路は、大阪府との府県境部に計画された府県間道路であり、国道480号の幅員狭小、線形不良、事前通行規制区間を解消し、安全かつ円滑な交通を確保することにより、京阪神地域との連携強化に大きく寄与するものである。		
H6年度事業化	H - 年度都市計画決定 (H - 年度変更)	H6年度用地着手 H10年度工事着手
全体事業費	約106億円	事業進捗率 42% 供用済延長 - km
計画交通量	5,300 台/日	
費用対効果分析結果	B / C (事業全体) 1.6 (残事業) 4.0 総費用 (残事業)/(事業全体) 44 / 109 億円 (事業費：39 / 104億円 維持管理費：5 / 5億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 176 / 176 億円 (走行時間短縮便益：149/ 149億円 走行費用減少便益：18/ 18億円 交通事故減少便益：8/ 8億円)
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・個性ある地域の形成（異常気象時通行規制区間が解消される）		基準年 平成15年 他5項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 一般国道480号建設促進期成同盟会より、平道路の整備促進の要望を受けている。（平成15年11月）		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 大きな周辺環境の変化はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 四郷第1トンネル、四郷第2トンネルを含む約1.4km区間は概成しており、引続き用地買収及び工事を促進する。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収、本工事とも順調に行われており特に問題はない。今後は、早期供用に向け用地買収、本工事の促進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 建設副産物の発生抑制や再生材利用等、及びプレキャスト製品の使用等によりコスト縮減に努めている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。